

大動脈瘤（腹部）手術を受けられる患者さんへ

患者さん氏名

患者さん用スケジュール表

経過	外来	入院～手術まで	一般病棟	手術後	ICU（集中治療室）	一般病棟	一般病棟	一般病棟	10日目～退院
経過	初診時	手術前検査等での	入院当日～手術前日まで	手術当日	手術当日(術後)	術後1日目～2日目	2日目～7日目	7日目～10日目	10日目～退院
治療薬剤 (服薬指導)	常備薬を確認します 必要時休薬の説明をします	口腔外科診療が開始されます	持参薬を確認します 手術前日に下剤を服用します。希望があれば眠剤をだします 必要があれば24時間心電図モニターをつけます	手術着に着替えます 手術用の点滴があります 手術室入室 	心電図モニターなどの機器をつけます 口や胸などに管をいれています 抗生剤やお腹を動かす注射、座薬を入れます 背中からの管から痛み止めのお薬を入れます	点滴継続中 抗菌薬の点滴も行います お腹を動かす注射（お尻の筋肉に注射します） 座薬が1日3回あります 痛みがある場合は痛み止めを使用できます 食事に合わせてお薬が再開します 手術前に飲んでいた薬と内容が変更になる場合があります			服用しているお薬の説明をします 
処置			抗血小板剤を服用されている場合は、手術7日前より点滴に変更します 手術日までに硬膜外チューブを入れます（背中に管）	手術に合わせた範囲で除毛やお臍の処理をします 排便を促す座薬を入れます	ドレーン(管)からの廃液量の確認、傷口の処置をします 	ドレーン(管)からの廃液量の確認、傷口の処置をします 医師の許可があれば鼻の管を抜きます	状態に合わせて、ドレーンを抜きます 傷口の処置をします	7日目以降：抜糸します	
検査	血液検査・心電図・レントゲン・心臓エコー・肺機能・血圧脈波・歯科撮影	エコー(頸部・前腕)			適宜血液の検査をします	適宜血液・レントゲン検査等おこないます	適宜血液・レントゲン検査等おこないます	7日目以降にCT検査をします	
リハビリ		必要時、呼吸訓練の説明をします	日常の生活動作の確認をします		手術直後は状態がおちつくまでベッド上安静です	リハビリ開始：下肢のポンプ運動・寝返り・関節の運動・座位・立位・足踏み・歩行練習を開始します	リハビリ室で歩行練習をします 	病棟内は自由に歩行し、長距離歩行を開始します 有酸素運動開始	長距離、屋外への歩行をします 退院前に必要に応じ自宅を訪問し、動作の確認をします
食事(栄養指導)	特に制限はありません	入院前より管理栄養士より栄養指導を行う事があります	栄養士より食生活についてインタビューがあります 病態に合わせた食事を提供します 手術3日前より流動食開始 手術前日：21時までにアミノ酸・ビタミン(栄養機能食品)を2本飲みます	朝、6時までにアミノ酸・ビタミンを2本飲みます その後は何も飲んだり、食べたりできません 内服している薬がある人は6時に飲みます(医師の許可が出た薬のみ)	絶飲食です 医師の許可があれば少量の水分を飲める場合もあります	お腹の動きがよければ、状態に合わせてやわらかい食事から開始します。 1日目：流動食  2日目から5分粥から開始	病態に合わせた食事を提供します	病態に合わせた食事を提供します	病態に合わせた食事を提供します 退院までに栄養指導をおこないます 
清潔	特に制限はありません	特に制限はありません	特に制限はありません 手術前日：シャワー浴、消毒液で身体を拭きます			陰部は洗浄し、身体を拭きます	陰部は洗浄し、身体を拭きます	抜糸し、管が取れたらシャワー浴可能 管を抜いた後の抜糸ができれば入浴可能	退院後入浴可能
排泄	特に制限はありません	特に制限はありません		排便がない場合は浣腸をします	手術後から尿道カテーテル(尿の管)が入ります 排便はオムツか差し込み便器を使用します	尿の管が入っています 便はオムツか差し込み便器を使用します	リハビリの状況で尿の管を抜きます トイレあるいはポータブルトイレを使用します		
患者さん及びご家族への説明・その他	手術前に常備薬の休薬が必要であれば説明します 入院支援担当者が、入院時の必要書類の説明や過去の病気、現在の病気等について伺います	主治医より手術に関する説明があります(ご家族の同席をお願いします)	手術の詳しい説明をします(説明を希望される方は多くの方が見られても良いです) 手術前の説明をします 手術前日に麻酔医が訪問します(手術当日になる場合もあります)	<ご家族の方へ> 手術中から集中治療室(ICU)控室で待機してください 手術後に医師より説明があります 	手術後はICUに入室します	状態が落ち着いたら一般病棟へ移動します	状態が落ち着いたら一般病棟へ戻ります	心臓病予防教室に参加	手術後10日目～2週間で退院予定です 退院後、1回外来受診し、その後はかかりつけ医へ紹介させていただきます 

注1 傷病名等は、現時点で考えられるものであり、今後治療をすすめていくにしたがって変わることがあります。
注2 入院期間については、現時点で予想されるものです。

<入院費用>
70歳未満の方で限度額認定証作成にて約5万円～30万円（食代を含む）
70歳以上の方は約3万円～30万円（食代を含む）※所得により異なります